

嬉 望

第 6 号

兵庫教育大学 学校経営コース大学院生編集部



“ひょうちゃん”は兵庫教育大学のマスコットキャラクターです。

●学長インタビュー②

5号に続き学長インタビューの2回目です。

3 兵庫教育大学の学校経営コースの特色は何でしょうか？

トップリーダー養成にこれほど特化しているものを持っている大学は他に類をみません。さらに学校や教育委員会から管理職・教育行政職として期待されている人が来ています。また、スタッフについても、質、量とも充実しています。

4 私たち学校経営コース大学院生の印象はどのようなものでしょうか。

まじめで経験があり優秀な人たちが集まっていますね。まじめさ、真摯さというのはとても大切なことです。互いが模範になることで学びを深められると思います。



“学びの共同体”、“コーホートによる学び”は重要です。校種も出身都道府県も異なるメンバーが、一定の共通した目的をもって学び合うこと、かつ能力や経験のある人達が学び合うことは、効果的な学び・より高度な学びにつながり、とても良いことです。

5 私たち学校経営コースの院生に期待されていることはなんですか。

学校経営コースのミッションである「充実した学習による教職キャリアの実現」「兵教大活性化に向けた戦略的突出」「修了後の日本の教育に対する貢献」ということを期待しています。また、教育者として高度な人間性の確立をめざしてほしいとも思います。

6 私たちを派遣している教育委員会や学校に対して、期待されていることは何でしょう。

まず、本コースの意義についての理解・活用を期待しています。なかなか優秀な人材を大学に出しにくいと思いますが、将来投資としてとらえていただけたらと思います。次に、インターンシップやいろいろな調査を通じた学生への指導や大学の教育活動への協力をお願いしたいと考えます。そして、そういったことで大学院が良くなっていくのは当然ですが、それが学校、教育委員会への貢献につながり、改善にもつながるということをご理解いただけたらと思います。

●国税局幹部による研修会

6月10日、大阪国税局課税第2部の三宅啓介部長による「税務マネジメント研修」が実施されました。今回の研修は、国税局から大学に対して、租税教育の一環として特に将来の学校幹部にとの申し入れがあり、教職大学院学校経営コースの1・2年生全員が受講しました。

また、研修会には、地元の酒造組合（造り酒屋）と酒販小売組合（お酒屋さん）も出席し、政務のマネジメントだけでなく、地元の産業等についても学びました。真剣に聞き入る学生たちの写真と、翌日の神戸新聞の記事です。

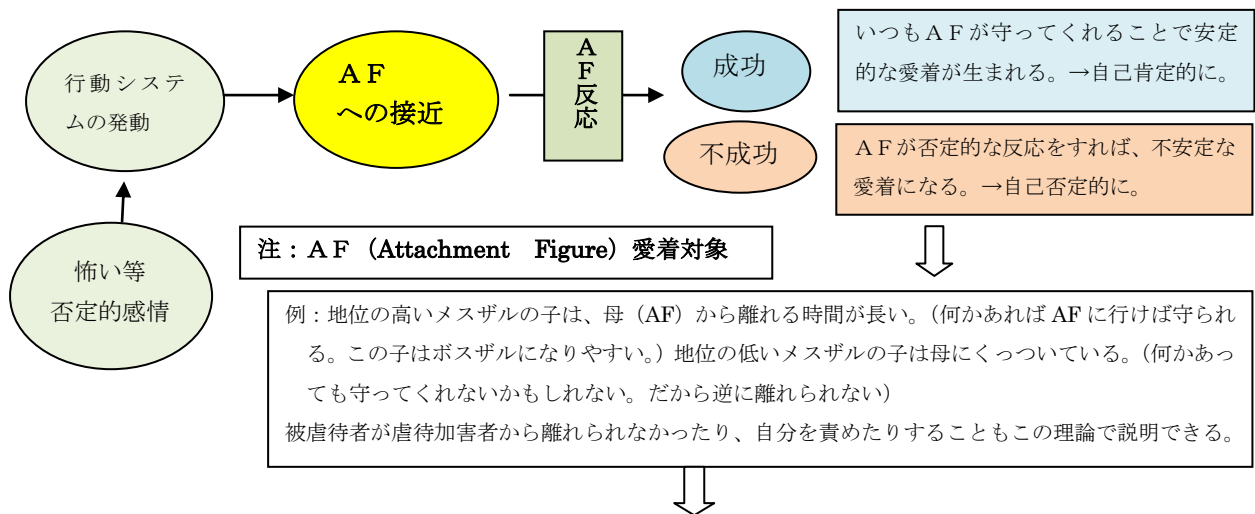


●シリーズ 兵庫教育大学教職大学院の授業 ⑤

～児童生徒を活かす学級経営の実践演習A～（必修共通基礎科目）

今回の授業紹介は、1年前期に開講されている「児童生徒を活かす学級経営の実践演習A」です。

兵庫教育大学教職大学院の授業の多くは複数の教員が担当しますが、この授業では昨年度3人の先生が担当されました。まず、学級経営の基礎を学び学級経営案を作成する演習を行いました。次に人間関係や集団に関する行動科学的理論から児童生徒理解に至る考え方を、さらに学校現場におけるリーダーシップに関することを学びました。それぞれの専門家の授業が、一つの科目の中で美しい流れで構成されていると感じました。現任校が高校である筆者にとって、学級経営案をつくることは実は初めての経験でした。異校種では、普通に行われていることを大学院で初めて経験し、教師として一つ引き出しが増えた感がありました。また、集団やリーダーシップに関しての学びは、科目名にある学級経営は言わずもがなですが、学校経営や組織マネジメントの側面からも非常に役立つものでした。図は筆者の講義ノートをもとに作成したものです。カリスマリーダーシップモデルなど多くのリーダーシップモデルを学びましたが、その中から愛着リーダーシップモデルのほんの一部について示しているつもりです。



リーダーの愛着の安定度は集団全体の在り方に影響

愛着安定度の高いL (リーダー) ほど、F (フォロワー) の必要性を大切にし、Fを尊重できる。そして自分のビジョンをうまくFの気持ちに合わせられる。(坂本竜馬もこんなリーダー? 幼少期の乙女(姉)など家族との良好な関係) 愛着安定度が低いと、頑張ろうという気持ちとがんばれない気持ちが混在したLやFに、さらに低いとFの気持ちが察知できないLになる。

●教職大学院ストレート院生の指導育成を通じて学ぶ

兵庫教育大学教職大学院は、100名定員ですが、約半数はストレート院生です。ストレート院生とは、教員の経験を持たない学部から進学してきた院生です。私たち「学校経営コース」には現職教員しかいませんが、「授業実践リーダーコース」と「心の教育実践コース」は、現職教員とストレート院生が混在し、「小学校教員養成特別コース」は、ストレート院生が100%です。

本学教職大学院のカリキュラムでは、各コースの院生と一緒に受講する「共通基礎科目」は、現職教員向けとストレート院生向けを別科目で設定しています。「専門科目」は現職教員とストレート院生と一緒に授業を受けますが、私たち学校経営コースの現職教員にはその機会がありません。

そこで、学校経営コースの大野准教授が主担当をしているストレート院生向けの「共通基礎科目：学校組織マネジメント実践演習B」に、私たち現職教員が入ることにしました。「キャリア教育」「地域連携」「教師力向上」等、ストレート院生がいくつかのグループに分かれて演習する際のアシスタントです。すでに、2回実施しましたが、一番勉強になっているのは私たちかもしれません。

